

神田委員（自民議連）

令和6年3月7日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）教育理念について

小学校1年生における教育を、どのような理念の下で進めているのか、教育長の所見を伺う。

（答）

小学校1年生における教育につきましては、まずは、安心して学べる学級集団の中で、児童一人一人が学ぶことの喜びを実感しながら成長することが重要であるという理念の下で進めております。

また、小学校低学年は、幼児期の教育を通じて身に付けたことを教科などの学びにつなぐとともに、語彙の獲得や計算の意味などの理解といった、学習の基盤を形成していく大変重要な時期であると捉え、様々な取組を進めております。

このため、平成29年度から、本県独自の取組といたしまして、小学校1年生から2年生にかけての児童一人一人の「言葉、語彙」、「数、形、量」、「思考力」などの状況を把握し、個別の支援につなげるための「広島県学びの基盤に関する調査」の調査問題の作成に着手いたしました。

その後、指定校において試行・改善し、令和4年度には県内全ての公立小学校で活用できるよう、調査問題を県教育委員会のホームページに掲載いたしました。

現在、この調査問題は、指定校における個別の学習支援の好事例と併せて、県内8割近くの公立小学校で活用されているところでございます。

県教育委員会といたしましては、引き続き、全ての児童が安心して学ぶことができるよう、小学校低学年段階での教育の充実に取り組んでまいります。